

【例題】

次の文章のA～Gに当てはまる語を、後から選び、記号で答えなさい。

敬語には、大きく分けて、「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の三つの使い方があります。丁寧語は、丁寧に話す言い方です。終わりに「です」や「A」を使えば、丁寧な言い方になります。

尊敬語は、相手や話の中に出てくる人を尊敬して話す言い方です。「いらっしゃる」「ごりっぱ」「出てこられる」「くださる」「おやすみになる」「なさる」などの言葉は尊敬した言い方です。これらの尊敬語を整理してみると、次のようになります。

- ・「いらっしゃる」「くださる」「なさる」「B」などの特別な言葉(敬語動詞)を使う。
- ・「おやすみになる」「C」のように、「おー」になる「ー」という形を使う。
- ・「D」「出てこられる」のように、「れる」「られる」を使う。
- ・「ごりっぱ」「E」のように、「頭に」「ご」「お」をつける。

謙譲語は、自分の動作をへりくだって話す言い方です。「いただく」「お聞きする」「参る」「申し上げる」などが、謙譲語です。次に整理してみましょう。

- ・「いただく」「参る」「申し上げる」「F」などの特別な言葉を使う。
- ・「お聞きする」「G」のように、「おーする」という形を使う。

【語群】

- | | | | | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|--------|---|----|---|------|
| ア | こられる | イ | おっしゃる | ウ | お待ちになる | エ | ねえ | オ | お手すき |
| カ | お願いする | キ | うかがう | ク | ます | ケ | 神仏 | | |

敬えく Aウ Bイ Cウ Dフ Eオ Fキ Gカ

【練習問題】

1 次の「」にあてはまる適当な言葉を入れて、敬語についての文を完成させなさい。
 ふつうの動詞に「おーになる」「れる・られる」「おーする」をつけると、「お話しになる」「①」
 れる」「お話しする」のように、尊敬語やけんじよう語になります。

動詞の中には、これとは別に、もともと尊敬やけんじよう語を表しているものがあります。

- ・言うーおっしゃる
- ・くれるーくださる
- ・するー②
- ・言うー④
- ・見るー拝見する
- ・行く・来るー⑤

このほか、

- ・皇后陛下からお言葉をたまわる

のように、特別敬った言い方をするときに使われるものもあります。

2 次の電話の会話(1)～(7)の中には、敬語の使い方の方のまちがいが、それぞれ一カ所ずつあります。その部分を書き出し、例にならって正しく直しなさい。

〈例〉 先生が言いました。 言いました ↓ おっしゃいました

- (1) 春男 「ぼく、山田といいますが、秋男君おられますか。」
- (2) 秋男の母 「秋男は今、いらっしやいせんが。」
- (3) 春男 「そうですか。実は、十七日の学級ハイキングに秋男君が参加するかどうかを知りたいのですが、お母さんは知っていますか。」
- (4) 秋男の母 「いいえ、ご存知ありませんわ。」
- (5) 春男 「それでは、至急お返事がいただきたいので、秋男君にこのことをお伝えください。先生も参加するそうです。」
- (6) 秋男の母 「では、そのことを秋男にお伝えしておきますわ。」
- (7) 春男 「よろしくたのみます。さようなら。」

3 つぎの文の敬語の使い方方で正しいものには○、正しくないものには×をつけなさい。

- 1 乗車券をお持ちしていない方は、おしらせねがいます。
- 2 先生、母にお会いいただけますか。
- 3 父が先生にお会いしたいとおっしゃっています。
- 4 山田洋子さん、お父さまがお迎えにまいっています。(呼び出し)

(桜蔭中学校)

4 次のア～オまでの()はもつともふさわしいことばを後の1～15から選んで番号で答えなさい。

- ア 次回はめずらしい動物に()ことになっております。
 - イ ご遠慮えんりょなくお茶を()。
 - ウ 今日は校長先生がお話を()しました。
 - エ 私は先生のご自宅に()ことがあります。
 - オ 応接間にお客様が()います。
- | | | | | | |
|----|---------|----|---------|----|--------|
| 1 | いただきます | 2 | 飲みます | 3 | めしあがれ |
| 4 | おいでになって | 5 | おいでいただく | 6 | 来てもらう |
| 7 | うかがった | 8 | 来た | 9 | 行った |
| 10 | なさい | 11 | し | 12 | いたし |
| 13 | まいって | 14 | 来て | 15 | おじゃまして |

5 次の三つの文はどれも敬語の使い方方に誤りがあります。正しい敬語の使い方方に直して書きなさい。

- ・ 貴重品は、お持ちしないでください。
- ・ 私の父もそうおっしゃいました。
- ・ A君が、「それは、先生がいたしました。」と言った。

- 6 次の——線のことばを敬語になおさない。
- ㉗ あれを見なさい ㉘ あの方が知っている
- ㉙ 手紙を見た ㉚ 先生からもらった

(明治大学付属中野)

- 7 日本語の敬語には、尊敬語(ある人に対して尊敬の気持ちを表す)、けんじよう語(自分が相手に対してへりくだった気持ちを表す)、ていねい語(相手に対してていねいな気持ちを表す)の三つがあります。次の各文を、どの敬語を使ったらよいかを考えて、書き直しなさい。
- 1、客が来た。
 - 2、先生がそばを食べていた。
 - 3、友だちの父がこんなことを言った。
 - 4、私からみんなに言いたい。
 - 5、先生から学問の話聞いた。
 - 6、客から花をもらった。

(山脇学園中学校)

- 8 敬語には、相手や話の中の人を尊敬して用いる尊敬語と、自分がへり下る気持ちを表すけんそん語(謙讓語)、そして、ていねいにするためのていねい語の三種類があります。
- ていねい語は、文の終わりにつける「です」や「ます」のことで、これによってあらたまっていたい方になります。尊敬語とけんそん語の場合にはこれほどかんたんではありません。まるでちがうことばを用いてその気持ちを表す場合も多いのです。次の表のことば(動詞)の尊敬語・けんそん語にあたるものから選び、記号で答えなさい。

ことば	尊敬語	けんそん語
行く・来る	「 <input type="checkbox"/> 」	「 <input type="checkbox"/> 」
言う	おっしゃる	「 <input type="checkbox"/> 」
する	「 <input type="checkbox"/> 」	いたす
食べる	「 <input type="checkbox"/> 」	「 <input type="checkbox"/> 」

- ア なさる イ 申す
- ウ いただく エ させる
- オ まいる カ 食らう
- キ めしあがる ク いらっしゃる

(六甲中学校)

- 9 次の文は、先生に対する生徒のことばです。()の中のいい方はどちらが正しいですか。記号で答えなさい。

先生、 (ア) わたくし (イ) ぼく) はきのうからかぜぎみで、頭痛が (ア) して (イ) しまし
て)、 (ア) 父 (イ) おとうさん) も「体育の時間は休むように」と (ア) いいました (イ) おっ
しゃいました) ので、 (ア) 休ませてもらいます (イ) 休ませていただきます)。

(日大第三中学校)

10 次の文で、㉠「相手をうやまつた言いかた」、㉡「自分がへりくだった言いかた」、そのどちらでもなく、㉢「ただいいねいな言い方」に分けて、記号で答えなさい。

- ・ 手紙を書きますのも久しぶりでございます。
- ・ 高田さんが、すぐこちらへいらつしやいます。
- ・ さくらの花が散ってしまいました。
- ・ これらをすべてさしあげることになりました。
- ・ 来月、父といっしょにうかがわせていただきます。
- ・ 貴重なこの資料を、ぜひ拝見させていただきとう存じます。
- ・ 「あなたはどなたですか。」と、お聞きしても、何もお答えにはなりませんでした。
- ・ 社長はたたいま席をはずしてありますが、何かうけたまわっておきましょうか。
- ・ おじさんがけがをなさったそうですが、そのおけがはたいしたことはないそうです。
- ・ おはようございます。きょうもすがすがしいお天気で、気持ちがよろしゅうございますね。

(賢明女子学院中学校)

11 次の中から、・ 尊敬語を使っている文、・ 謙讓語を使っている文をそれぞれ一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- ア そこにいるのはだれですか。
- イ こちらからお電話いたします。
- ウ 今日の試験はそれほどむずかしいとは思いません。
- エ そんなことおっしゃってはいけません。

(世田谷学園中学校)

12 次の会話文は、中学一年生のさくらさんの家に、おかあさんの学生時代であった葉子さんが、久しぶりにたずねてきたときのものです。例にならって、1～5 () 中の言葉を、正しい敬語表現に直して答えなさい。

(例) 先生から、賞状を(もらった)。「答」いただいた。

葉子 「さくらさん、しばらくお会いしない間に大きくなられたわね。」

さくら 「はい、ありがとうございます。でも妹のすみれのほうが、私よりも背が高いのです。」

葉子 「まあ、そう。すみれちゃんは、もう小学校五年生でしょ？」

母 「今日はちょうど、ピアノの先生のところへ1(行く)日になっていて、出かけてしまったのよ。」

さくら 「すみれも、葉子さんが2(来る)と言ったら、とても会いたがっていました。」

母 「そうそう、これは二人が焼いたクッキーなので、紅茶と一緒にどうぞ3(食べ)て。」

葉子 「ありがとう。4(食べる)わ。とても上手に焼けているわね。」

母 「ところで、お正月のときの晴れ着の写真があったわね。葉子さんにお見せしたら。」

葉子 「ぜひ5(見たい)わ。」

(横浜隻葉中学校)

13 次の各文の（ ）内のことばを、敬語でいうとどうなりますか。例にならって書きなさい。

例 お医者様が（来る）た。 答「いらっしゃつ」

- これからおたくに（行く）ます。
- 温かいうちに（食べる）てください。
- 静かに（見る）になってください。
- 校長先生が、「しっかりとがんばってやりなさいよ。」と（言う）ました。

（高知大教育学部付属中学校）

14 次の各文をできるだけいいねいなことばでいう場合、□の中になんかことばを入れたらよいですか。

それぞれあとのことばの中から選び、記号で答えなさい。

- 先生は私に本を□ました。
 - ㉞ いただき ㉟ 与え ㊱ やり ㊲ ください ㊳ くれ
 - ㊴ いらっしゃい ㊵ いかれ ㊶ まいり ㊷ うかがい
- 父はけさ、いつものように会社へ□ました。

15 次の文の中から、敬語が正しく使われている文を選び、記号で答えなさい。

- ア どうぞご自由にいただいでください。 (主人 ↓ 客)
- イ 山田さん、おりましたら、駅長室までおいでください。 (駅員 ↓ 客)
- ウ となりの席はあいていらっしゃいますか。 (乗客 ↓ 乗客)
- エ 旅行中の先生からお便りをいただいた。 (生徒 ↓ 生徒)

（奈良教育大付属中学校）

16 次の文の——線のことばを、——線をつけた人物をうやまう表現に直しなさい。

- 先生が私たちに話をする。
- 私は先生に本をもらいました。
- 「先生、私の母が『よろしく』と言っていました。」

（群馬大学付属中学校）

17 次の文の——線のことばは、何ということばの敬語ですか。

- 先生は、すぐこちらにいらっしゃるそうです。
- 先生は、昼休みここにいらっしゃいますか。
- 先生は、来月あちらの学校にいらっしゃることになった。
- 冷たくならないうちにめし上がるて下さい。

（女子聖学院中学校）